

議 事 録 要 旨

会議名	第2回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会
日 時	令和3年9月30日(木) 19:30~21:00
場 所	あわら市役所 301 会議室
出席者	<p><部会員> 市民/笹原修之(部会長)、八木康史 福井工業大学/川島洋一(教授) あわら市文化協議会/堀田あけみ あわら市商工会青年部/松川秀仁 福井県農業協同組合/深町治男 野菜ソムリエコミュニティ福井/土橋登喜雄 芦原温泉旅館協同組合/山口賢司 音泉組/青柳淳一 ゲンキッズステーション ASOVIVA!/長田康秀</p> <p><事務局> 土木部/西川理事 新幹線まちづくり課/山本課長、翠補佐、木村主査 観光振興課/赤神補佐、牧野職員</p>
欠席者	<p><部会員> 市民/森嗣一朗、高木めぐみ、西田幸男、(一社)あわら市観光協会/津田香由紀 農家カフェ/藤井和代</p> <p><事務局> 商工労働課/中村補佐</p> <p><オブザーバー> あわら市/佐々木市長</p>
内 容	<p>1 開 会</p> <p>2 部会長あいさつ 部会長： ・コロナの影響はまだあるが、明るい兆しが出てきた。デザイン部会は、話したことを形にしていくものである。駅前広場では、賑わい広場の工事が進んでおり、開業を少しずつ実感できる状態になってきている。具体的な話をタイムスケジュールに合わせて市民や学生の皆さんに協力を得ながら、いい意味で外に向けて発信していきたい。有意義な時間になるようご意見をいただきたい。</p> <p>3 報告事項 (1) 前回部会での質問等について 事務局： ・資料4を基に、説明</p>

前回示したステージとは別のステージを体験

- ・幕をして、足場を隠すことは可能。
- ・カーペットの色を変えることもできる。

(2) (仮称)賑わい施設の愛称募集について

事務局：

- ・資料1、2を基に、説明

(3) 芦原温泉駅周辺サイン計画について

事務局：

- ・資料3を基に、説明
- ・周辺案内図、広域案内図にういては、意見が欲しい。(例：必要な施設、道路など)

4 協議事項

(1) マルシェワゴンについて

事務局：

- ・今回、川島部会員に無理を言って試作品をお願いした次第である。

部会員：

- ・ワゴンについて説明
- ・川島部会員の研究室の学生が製作

〈ご意見〉

- ・ぐらついているので安定するように改良してほしい。
 - ・風に耐えられるようにおもりが必要。
 - ・屋根をテント生地にするか検討が必要。(風の影響を考慮して)
 - ・天板の長さが調節できるとよい。
 - ・この長さでは、農産物等の陳列はできない。
 - ・セットでベンチと棚があるとよい。
- 再検討を依頼し、11月に協議予定

(2) オープニングイベントについて

事務局：

- ・賑わい施設が、令和5年春オープンと告知しているのでそれに向けて竣工式とオープニングイベントを企画している。賑わい施設は、12月末に完成するが、その後、観光案内所等の内装に取り掛かると2か月ほどかかるので3月末を想定している。竣工式は、大安に行いたいと考えているのでこのような日程になっている。
- オープニングイベントは、ステージを使った音楽イベントや各種団体の発表や賑わい広場に飲食ブースを設けて、ふるまいを行うなどを想定している。

部会長：

- ・竣工式は、一般市民が参加するものではなく来賓等が参加するということがよいか。
- オープニングイベントは、市民が参加し、楽しく行うものということによいか。

事務局：

- ・そうである。

部会長：

- ・竣工式とオープニングイベントの日程は、連続して行わなくてもよいか。

事務局：

- ・続けて行くと注目を浴びると思うが、同じ会場で行うので準備の都合で切り替えが難しいことも予想されるので日程をずらしている。

部会員：

- ・開会式等で来賓が挨拶するのは時代に合っていないと思う。今年の9.98スタジアムでのナイト陸上では、来賓挨拶を省略して開会式を行った。竣工式の後に何かイベントを行うということか。

部会長：

- ・日程をあければ竣工式は関係者のみで厳かに行うことができるが、来賓の方々は多くの人の前で話をしたい。

部会員：

- ・色んな現場を見てきたが、国会議員や知事を招き、テープカットをしている。

部会員：

- ・午前中に竣工式をして、午後からオープニングイベントを行うのはどうか。

部会長：

- ・それをするとバタつく懸念はないか。

部会員：

- ・それは、大丈夫である。

事務局：

- ・そういった話もあったが、物販で出店する方が半日だと採算がとれないという意見も出た。

部会長：

- ・竣工式に人を集めて行うものにするかによる。

部会員：

- ・他の新幹線駅はどうか。

事務局：

- ・もう1年後になり、あわら市は賑わい施設の竣工式を開業1年前に行う。

事務局：

- ・新幹線開業時にも当然イベントを行う。

部会員：

- ・他の新幹線駅がしないようなインパクトのあるイベントを行った方がよい。

部会長：

- ・竣工式はどれくらいの時間を想定しているか。

事務局：

- ・設営等も含めて、半日はかかる予定。

部会員：

- ・竣工式の前にイベントをして途中で竣工式をしてはどうか。

部会員：

- ・それをすると誰も話を聞かない。

事務局：

- ・竣工式については、国や県の補助金をもらったり、地元の方にもご不便をかけたりしているというところで外せない。

部会長：

- ・竣工式をニュースで流してもらい、オープニングイベントの告知をしてもらえるとよい。

事務局：

- ・一度にすべて行くと一過性で終わってしまうので何回もすると宣伝になる。

部会員：

- ・飲食・物販店舗の営業はいつからか。

事務局：

- ・竣工式の日からのオープンを想定している。

部会員：

- ・新しい施設が出来た時のやり方として一度オープンとして、その後にグランドオープンとして再度行っている。宣伝を2回出来る。

事務局：

- ・松川部会員が言っていたインパクトのあるイベントとは、プロに任せるとよいか今後の賑わい広場の活用を考慮して地元の団体の方に依頼したほうがよいかのご意見をもらいたい。

部会長：

- ・地元の方だけで2日間となると難しいと思うので組み合わせることができるとよい。

部会員：

- ・どちらか1日を地元の方がいいと思う。もう1日は県内の団体に来てもらうとよい。コロナ禍が続いていることもあり、県外から呼ぶというイメージができない。

部会員：

- ・湯のまち広場で今度イベントが行われるので潜在的にイベントをしたい方はいる。

部会員：

- ・文化会館でもイベントがあるので少しずつ動きが出てきたと思う。

事務局：

- ・オープニングイベントについては、時間もあるので今後のご意見をいただきたい。

部会長：

- ・地元を中心に置きながら今後の部会で(案)を提示していただきたい。

部会員：

- ・2023年のこの時には管理する団体はできているのか。

事務局：

- ・予定では、令和4年度の7月に管理を運営する組織が立ち上がり、開業に向けて準備

を進めていく。

部会員：

- ・2023年度は、毎週は難しいと思うが隔週でもいいので2024年春の開業に向けて計画的に進めていくとよい。開業すると毎週何かイベントをしていることが大事である。

事務局：

- ・立ち上げる組織の中に営業部門を設けるので皆さんに積極的にお声掛けしていく。市内だけでなく市外にも発信していく。

部会長：

- ・次年度、運営組織が立ち上がると意見交換会みたいな場が多数出てくると思うので各種団体の意見を吸い上げて行って欲しい。

部会員：

- ・ネット上の発信などはあらかじめ準備しておくことよい。急に発信しても誰も見ない。新幹線開業に向けてつなげていくことが大事。

事務局：

- ・次回については、未定としている。第1回のスケジュールでは、令和4年の1月か2月に開催する予定であったが、賑わい施設のPRやマルシェワゴンは何台作るかななどを事務局でつめていきたいので未定としている。

5 閉 会

事務局：

- ・長時間にわたりご意見をいただきありがたい。ステージについては、来年度の発注に向けて準備したい。マルシェワゴンの試作品の製作について川島先生のご協力に感謝する。ワゴンについても改良等について熟度を高めていきたい。